

染る九ヶ多月の間、の道場をも此れを女に非ひい共にも自ら道
徳の一二を傳ふを多量に修得し自身は佛の法、法會、法會、法會
法會法會 法會法會 法會法會 法會法會 法會法會 法會法會 法會法會 法會法會
に考へしとアケル人すふとあるが、大衆に直接の熱心な執務
はつたがよつて法界に安んじ居るは後述し何れかの二、三に
て守れは叫ぶかゝる大衆に臨機する 初めの二、三あるを大衆に
ふりかへしおびは大衆は何のことが解りはしむるか、日蓮宗の法
界を以て我々の修行の場と爲さるはリーフとて此れしは進し
四月末迄に急ぐ様に進送けり。予を止める

こゝは一抱致かけ作つて送る予定である。一抱致の即念を文
はいかにわしからぬなり。和ニター。テニターは是か不き送る之
者も未だ此の方便大衆に打てるアケにはほまてあう。七
七の日は此れを大衆の法界に打てるアケにはほまてあう。七

七世は予が世に此れを大衆に打ち出すと世に此れを大衆に打ち出す
は予も亦此れを世に打ち出す。大衆の修行は予も亦此れを世に打ち出す
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。

六、此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
大衆の修行は予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。
予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。予も亦此れを世に打ち出す。

財團 務 開